

NEWS RELEASE

2020年10月26日
株式会社電通ライブ

“和歌山市観光アプリ”に音声ARシステムの企画・技術提供 観光名所「和歌山城」「友ヶ島」等を包括する観光インフラアプリをリリース

株式会社電通ライブ（本社：東京都千代田区、代表取締役社長執行役員：孫 生京、以下：電通ライブ）は、エイベックス・エンタテインメント株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：黒岩 克巳、以下：AEI）、株式会社バスキュール（本社：東京都港区、代表取締役社長：朴 正義、以下：バスキュール）とともに、和歌山市の観光インフラとなるアプリケーションを共同で企画・開発いたしました。



[アプリ画面イメージ]

今回のプロジェクトでは、2019年10月に公開した観光ガイドアプリ「友ヶ島」を大幅に改修し、2020年6月に日本遺産に認定された「葛城修験」や、史跡「和歌山城」などを巡るコンテンツを追加。和歌山市の主要な観光拠点のインフラとして、2020年10月9日(金)に音声ARによる「和歌山市観光」アプリとして新たに公開致しました。

本アプリでは、音声ARによる観光名所のガイドだけでなく、2019年に好評を博した友ヶ島第3砲台美術館の音の展示コンテンツや、和歌山城に眠る歴史を物語として楽しむことができるサウンドツアー（<https://youtu.be/tfi4Gy--cV8>）も提供しています。

※アプリ詳細は、各種プレスリリースをご確認ください。

和歌山市 HP：<http://www.city.wakayama.wakayama.jp/kankou/kankouspot/1027585/1027586.html>

PR TIMES 掲載記事：<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/00000001.000066888.html>

「音声 AR（読み：オンセイエーアール）システム」は、電通ライブ及びバスキュールによって、2018年1月にスタートした共同開発案件です。ファイナルファンタジーの30周年を記念する展示会や映画「ミッション：インポッシブル」シリーズのプロモーションでの導入、六本木アートナイトでの作品出展など多数の制作実績を持ちます。数多くのメディアにも掲載され、グッドデザイン賞を始め多数のアワードも受賞しています。（URL：<https://onsei-ar.jp>）
企業のプロモーションイベントから地域のインフラなど、今後さらに展開していきます。

また、2019年からは、電通ライブ、AEI、バスキュールの3社は、音声AR事業での連携を開始し、音声ARコンテンツの制作、プラットフォーム開発で相互協力しています。

2019年10月リリース参照：

<https://www.dentsulive.co.jp/ss/2019/10/bd1a68bfaa945bd6080be6f89446b2c2.pdf>

AEIは、2018年5月に音声AR体験事業として「SARF（読み：サーフ）」を立ち上げ、大塚愛がナビゲーターを務める渋谷の音声観光ガイドや、三越日本橋店内の音声ナビゲーションなど、アーティストや音楽配信サービス「AWA（読み：アワ）」を活用した音声ARサービスの企画開発や、音だけのホラーコンテンツやメディアアートなど、音声の特性を活かした音声ARコンテンツを多数制作してきました。（URL：<https://sarf.jp>）



今後も、音声AR領域の事業連携において、コンテンツの制作やプラットフォーム開発、運用、営業、コンサルティング事業など3社の強みを活かすことで、音声ARを社会に啓発していきます。また、イベントやプロモーションでの利用に留まらず、地方創生のための地域活性化など、企業や自治体が簡単に音声ARコンテンツを作成・運用管理でき、誰もがストレス無く音声ARコンテンツを体験できる仕組み（エコシステム）の構築を目指します。

以上

【本事業に関するお問い合わせ先】

株式会社電通ライブ クリエーティブユニット 松本

※お問い合わせは下記、広報アドレスまで。

【本リリースに関するお問い合わせ先】

株式会社電通ライブ 経営企画部 三島・佐藤 kouhou@dentsulive.co.jp

<https://www.dentsulive.co.jp>